

平成30年度 事務事業マネジメントシート

事業名	夜間小児救急医療確保事業			会計	款	項	目	大	小
				01	04	01	03	02	51
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	健康増進課					
施策	4-4	健康で明るい暮らしづくり	主管課長	伊原 理香					

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	夜間の小児緊急患者	意図	市内の医療機関が診察していない時間帯を補うことで、安心して診療を受けられるようにする。
事業内容	平日夜間診療所の診療終了後（月～土曜日・21時～翌朝8時）、小児の急病に対応する第1次救急として初期診療・応急手当を行う夜間小児救急医療を確保するため、流山市医師会・実施医療機関との協定に基づき、流山市医師会に負担金を支出する。			
事業開始から現在までの状況変化	平成23年度から流山市医師会と医療機関が実施する事業に対して、市も一部負担を担う負担金事業として、流山市医師会、東葛病院・千葉愛友会記念病院と協定を締結して事業を開始。平成26年度から千葉愛友会記念病院が事業から撤退し、東葛病院1医療機関のみ（市・流山市医師会・東葛病院の三者協定）となる。			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成28年度	平成29年度	平成30年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	利用者数	1,126	1,098	956	人	→→	
②	実施日数	294	294	293	日	→→	平日の日数	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 利用者数の傾向について一概に評価するのは難しいが、年少人口の増加に対して利用者数に明らかな増加は見られない。	
事務事業のコスト		平成28年度	平成29年度	平成30年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		7,766,500	10,111,200	15,309,200				
事業費(b)(円)		7,080,000	9,440,000	14,650,000				
うち一般財源		7,080,000	9,440,000	14,650,000				
職員給与費(c)(円)		686,500	671,200	659,200				
人役・職員(人)		0.10	0.10	0.10				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	I 拡 充 （事業を拡大して継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①H30当初の改善計画(Plan)	流山市医師会と本事業の維持・改善について協議していく。	③取組における課題(Check)	小児科医の確保困難は全国的な課題となっている。休日への拡大も検討する必要がある。
②H30に実施した取組(Do)	本事業の維持のため単価及び負担率の見直しを実施した。	④課題に対する今後(H31～)の改善計画(Action)	単価及び負担率の見直し、休日への拡大を図る。小児救急医療の負担軽減のため、平日夜間・休日診療所や#8000番の利用、かかりつけ医の日中受診等の啓発等に努める。